根小屋小だより

子どもの根っこを太くたくましく ～一人ひとりの自己肯定感を育てる～

相模原市立根小屋小学校　令和８年１１月４日　NO.８



１１月は「いじめ防止強化月間」
～健やかな成長を見守り、ともに考えるために～

児童支援専任　岩田　有紀子

11月は、子どもたちの心身ともに健やかな成長を図るための「いじめ防止強化月間」です。学校では、日頃から子どもたちの思いに寄り添い、小さなサインも見逃さないよう見守りや支援に取り組んでいます。

児童支援専任としては、日々のトラブルや人間関係の摩擦について、常に「何が起きているのか」「児童がどう感じているのか」を丁寧に聴き取ることを大切にしています。しかし、「すべてがいじめ」というわけではありません。

子どもたちの日常の中では、意見の食い違いや思い違い、悪気のない言葉遣い、あるいは偶発的な衝突やけんかなど、さまざまな人間関係のトラブルが起こります。

これらは、子どもたちが社会性を身につけ、相手の気持ちや距離感を学んでいく過程（成長のステップ）でもあります。もちろん、意図的な嫌がらせや一方的な攻撃、集団での排除などは「いじめ」として迅速かつ組織的に対応いたします。

しかし、一見するとトラブルに見える出来事のなかには、お互いの価値観をすり合わせる経験や、自分たちで解決する力を養う大切な成長の機会となることも少なくありません。

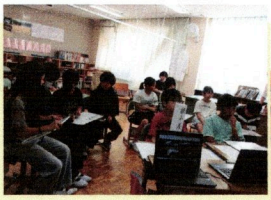
そこで、保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

お子さんから「学校でこんなことがあった」「嫌な気持ちになった」と相談を受けた際、不安やご心配を感じられることと思います。まずはしっかりとお子さんの気持ちを受け止めてあげてください。

そのうえで、学校での出来事について気になることや疑問がございましたら、一人で抱え込まず、いつでも学校へご相談ください。

「今起きている問題はどんな性質のものか」「お子さん自身がどう乗り越えていけるか」を、学校とご家庭で共通の理解を持ち、手を取り合いながら支援を進めていきたいと考えております。子どもたちが安心して健やかに学校生活を送れるよう、今後ともご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

【６年生　いじめについて考える】





・６年生が「相模原市いじめ防止フォーラム」に参加しました。フォーラムでは、いじめについて考えたり、他校の児童と意見を交流したりしました。自分と相手の気持ちを大切にすることや周りの人と協力して解決していくことの大切さについて学びました。

☆１０月３１日に開催した「ねごや大運動会」は、無事に終了することができました。一生懸命に頑張る子どもたちの姿に成長を感じるとともに、保護者の皆様の温かい応援や片付けへのご協力に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。